



腹部超音波検査のご案内

腹部超音波検査の特徴

腹部に超音波をあて、5つの臓器(肝臓・胆のう・膵臓・脾臓・腎臓)を中心に、異常がないかを調べます。胆石、ポリープ、のう胞、腫瘍などの限局性病変、脂肪肝、慢性肝炎などのびまん性疾患、各臓器の形態などを観察します。痛みや被ばくがなく、誰でも安心して受けていただける安全な検査です。

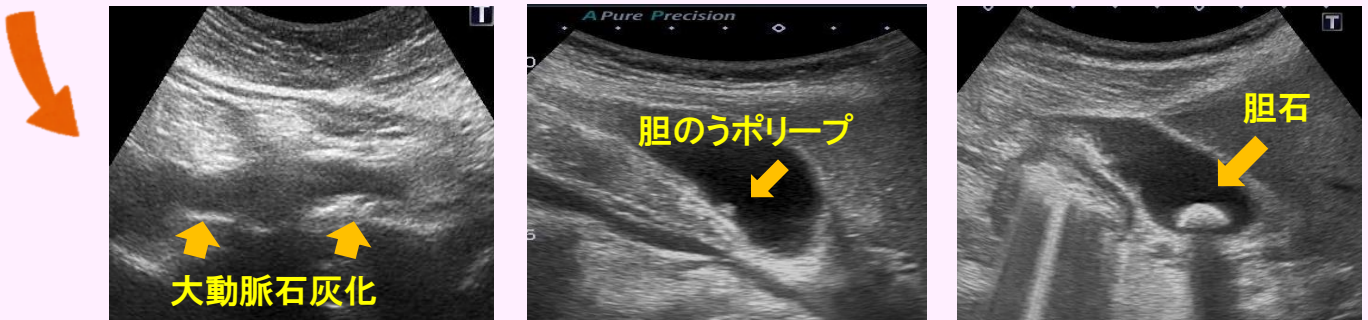


当院の超音波装置
(APLI0300)

生活習慣のチェックが行えます

- ・大動脈に石灰化が…
- ・胆のうにポリープや胆石が…

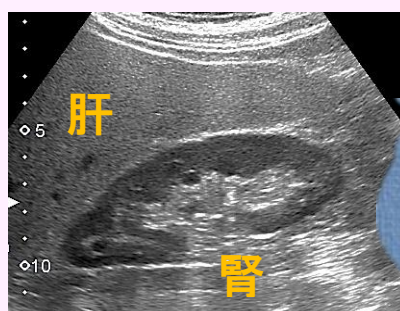
これらの発生は生活習慣の乱れが原因の可能性が高いと言われています。生活習慣の乱れは心不全や脳卒中などの重大な疾患の原因となるため、腹部超音波検査によりその前兆となる所見を見つけ、予防を行うことが大切です。



たかが脂肪肝、されど脂肪肝

脂肪肝とは、肝臓の細胞の30%以上が脂肪化した状態をいいます。脂肪肝の原因は大きく分けて、アルコールによるものと、脂肪の摂りすぎによるものがあります。

非アルコール性の脂肪肝は、単純性脂肪肝と脂肪性肝炎(NASH)に分けられます。アルコール性の脂肪肝とNASHは、放置すると肝臓が線維化し、肝硬変になり、肝がんへと進行します。脂肪肝は、肥満やメタボリックシンドロームに合併しやすく、生活習慣の乱れを教えてくれる重要なサインです。血液検査などでは分からないことがあるため生活習慣が気になる方は、健康診断とセットで腹部超音波検査を受けられることをお勧めします。

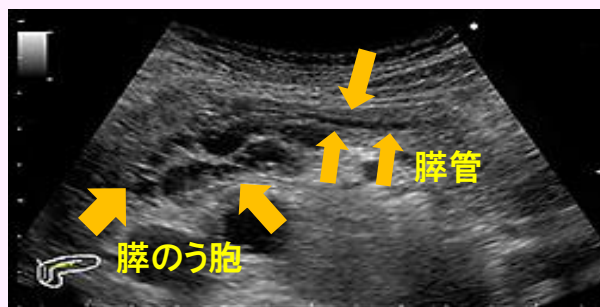


超音波検査では肝臓と腎臓の色の違いで脂肪肝を判定します

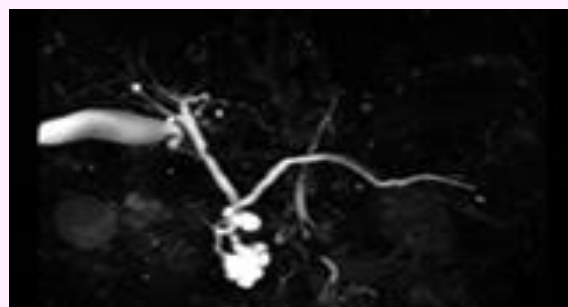


■ 症状のないガンなども見つかります

ガンは進行しないと症状にでてきません。症状が出る前を見つける事ができれば早期治療が可能です。超音波検査ではガンやガンになりやすいサインを見つける事ができます。図は膵臓の超音波画像と MRI 画像です。黄色の矢印で示している黒い部分が膵のう胞と拡張した膵管です。これら両方がある人はない人と比べて27倍ガンになりやすいと言われています。このような所見があった場合は、さらに詳しい観察のため、MRI 撮影などを行い膵管と膵のう胞の関係性や病変の有無を確認します。



膵臓の超音波画像



膵臓の MRI 画像

健診腹部超音波検査をご希望の方へ

- 【検査日時】 月・火・水・金曜日 9時30分～10時30分 <予約制>
- 【所要時間】 10～15分程度
- 【前処置】 絶食（食後12時間）
- 【検査費用】 4,950円（税込）
- 【申込方法】 お電話または新館総合受付でご予約下さい
予約受付時間：月～金曜日（祝日を除く）
8時30分～17時30分
お問い合わせ：新館総合受付・各種健診受付
0854-22-5555（直通）
- 【検査当日のお願い】 ①保険証をご持参下さい
②予約時間の10分前には新館総合受付までお越し下さい
- 【その他】 他の健診と併せて実施される場合は事前にご連絡下さい